



大塚 文雄 (おおつか ふみお)

河北町名誉町民 平成 22 年 11 月 3 日顕彰

昭和 15 年 (1940) 7 月 20 日、父日塔安吉、母フチエの 4 男として、三泉村字造山 (現河北町造山) に生まれました。

三泉中学校 2 年生から、民謡グループあずま会に入会するなど早くから民謡歌手への道を志し、県立谷地高等学校卒業後に上京し、当時、民謡歌手の代名詞的存在であった初代鈴木正夫に入門、昭和 36 年 (1961) 日本民謡協会主催の全国大会で「新相馬節」を歌い優勝、同 41 年に山梨県民謡「市川文殊／正調粘土節」で歌手としてデビューしたのです。

その後順調に吹込みを伸ばし、同 52 年 (1977) 発売された舞踊歌謡「祝賀の舞」は 100 万枚を越えるミリオンセラーとなりました。以来、澄み切った高音の大塚節をつくりあげ、民謡界を代表する国民的歌手の 1 人として活躍することになったのです。

また、テレビ番組や全国イベントなどにも数多く出演しては、民謡の指導と普及宣伝活動に勤め、これまで吹込んだ曲は民謡 400 曲、歌謡曲 60 曲を越し、指導した生徒 (弟子) は 3000 人を数え、現在も首都圏を中心に 3 つの教室を持ち 250 人に教えています。こうした実績が認められ、平成 21 年 (2009) 10 月には、日本民謡協会より「民謡名人位」を与えられました。

同時にふるさとへの思い厚く、山形県や河北町の「動く広告塔」として山形花笠まつりや町のイベントを盛り上げるなど、多大な貢献をしております。